

報告品目・新キット製品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

薬価 番号	薬効 分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
1	117	内用薬	ジェイロフト錠100mg	100mg1錠	305.40	ファイザー	塩酸セルトラリン	うつ病・うつ状態、パニック障害	通常、成人にはセルトラリンとして1日25mgを初期用量とし、1日100mgまで漸増し、1日1回経口投与する。なお、年齢、症状により1日100mgを超えない範囲で適宜増減する。	再審査期間中の規格追加
2	119	内用薬	メマリ—OD錠5mg	5mg1錠	137.70	第一三共	メマンテン塩酸塩	中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症状の進行抑制	通常、成人にはメマンテン塩酸塩として1日1回5mgから開始し、1週間に5mgずつ増量し、維持量として1日1回20mgを経口投与する。	再審査期間中の剤型追加
			メマリ—OD錠10mg	10mg1錠	246.00					
			メマリ—OD錠20mg	20mg1錠	439.70					
3	214	内用薬	アジルバ錠10mg	10mg1錠	93.60	武田薬品	アジルサルタン	高血圧症	通常、成人にはアジルサルタンとして20mgを1日1回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最大投与量は40mgとする。	再審査期間中の規格追加
4	325	内用薬	ラコールNF配合経腸用半固形剤	10g	8.40	イーエヌ大塚製薬	—	一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。	通常、成人標準量として1日1,200～2,000g(1,200～2,000kcal)を胃腸より胃内に1日数回に分けて投与する。投与時間は100g当たり2～3分(300g当たり6～9分)とし、1回の最大投与量は600gとする。また、初めて投与する場合は、投与後により観察を行い臨床症状に注意しながら増量して数日で標準量に達するようにする。なお、年齢、体重、症状により投与量、投与時間を適宜増減する。	類似処方医療用配合剤
5	325	内用薬	エネーホ配合経腸用液	10mL	7.10	アボット ジャパン	—	一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。	通常、標準量として成人には1日1,000～1,667mL(1,200～2,000kcal)を経管又は経口投与する。経管投与では本剤を1時間に62.5～104mL(75～125kcal)の速度で持続的又は1日数回に分けて投与する。経口摂取可能な場合は1日1回又は数回に分けて経口投与することもできる。ただし、通常、初期量は333mL/日(400kcal/日)を目安とし、低速度(約41.7mL/時間(50kcal/時間)以下)で投与する。以後は患者の状態により徐々に増量し標準量とする。なお、年齢、体重、症状により投与量、投与速度を適宜増減する。特に投与初期は、水で希釈して投与することも考慮する。	類似処方医療用配合剤
6	339	内用薬	タケルダ配合錠	1錠	89.30	武田薬品	アスピリン/ランソプラゾール	下記疾患又は術後における血栓・血栓形成の抑制(胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往がある患者に限る) ・狭心症(慢性安定狭心症、不安定狭心症)、心筋梗塞、虚血性脳血管障害(一過性脳虚血発作(TIA)、脳梗塞) ・冠動脈バイパス術(CABG)あるいは経皮経管冠動脈形成術(PTCA)施行後	通常、成人には1日1回1錠(アスピリン/ランソプラゾールとして100mg/15mg)を経口投与する。	新医療用配合剤
7	429	内用薬	サレドカプセル25	25mg1カプセル	4,757.60	藤本製薬	サリドマイド	1. 再発又は難治性の多発性骨髄腫 2. らい性結節性紅斑	1. 再発又は難治性の多発性骨髄腫 通常、成人にはサリドマイドとして1日1回100mgを就寝前に経口投与する。なお、患者の状態により適宜増減するが、1日400mgを超えないこと。 2. らい性結節性紅斑 通常、本剤を1日1回就寝前に経口投与する。用量は、成人にはサリドマイドとして50～100mgより投与を開始し、症状が緩和するまで必要に応じて漸増する。ただし、1日400mgを超えないこと。症状の改善に伴い漸減し、より低い維持用量で症状をコントロールする。	再審査期間中の規格追加
	623									
8	131	注射薬	ルセントイス硝子体内注射用キット10mg/mL	0.5mg0.05mL1筒	181.270	ハルティスファーマ	ラニズマブ(遺伝子組換え)	1. 中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性症 2. 網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫 3. 病的近視における脈絡膜新生血管 4. 糖尿病黄斑浮腫	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性症 ラニズマブ(遺伝子組換え)として0.5mg(0.05mL)を1か月毎に連続3か月間(導入期)硝子体内投与する。その後の維持期においては、症状により投与間隔を適宜調節するが、1か月以上の間隔をあげることを。 網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、病的近視における脈絡膜新生血管、糖尿病黄斑浮腫 ラニズマブ(遺伝子組換え)として1回あたり0.5mg(0.05mL)を硝子体内投与する。投与間隔は、1か月以上あけること。	新キット製品
9	639	注射薬	アボネックス筋注30μgペン	30μg0.5mL1キット	39,266	バイオジェン・アイテック・ジャパン	インターフェロンベータ-1a(遺伝子組換え)	多発性硬化症の再発予防	通常、成人にはインターフェロンベータ-1a(遺伝子組換え)として1回30μgを週一回筋肉内投与する。	新キット製品

- ・内容についての詳細な情報又は正確な情報は、添付文書等をご参照下さい。
- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。